

# 主要製品の歴史

## 生活消費財：家庭紙 おむつ

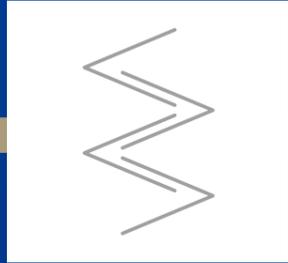
設立から1996年頃までは、家庭紙市場の成長とともに顕在化したニーズに応えるべく外装や原紙改良によって利便性を向上。その後は製品のコンパクト化による環境への負荷低減、さらに2011年以降はFSC®認証紙の採用をはじめ、絶え間なく品質改善および環境配慮に取り組んでいます。

1971



王子ティッシュ販売(株)を設立しトイレットロールを全国発売

1977



独自の方法でティッシュの折り方を改良

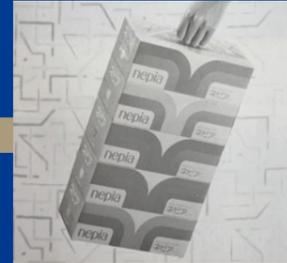
1983



タタミジョーズの開発

タタミジョーズは簡単にカートンを折りたためる機能。カートン側面の半円形ミン目から開封することで簡単に折りたためるように改良し、“箱の後始末のしやすさ”へのニーズに応えた。

1984



ティッシュ5個パックの発売

1985



キッチンタオルの高付加価値化

従来品に比べ、引張強度3倍、湿潤強度2倍にすることに成功。リニューアルを実施した。

1987 (株)ネピアに社名変更



ベビー用紙おむつ「ドレミ」発売



2007

ベビー用紙おむつ「Genki!」発売

尿便分離キャッチ構造の新技術を採用したハイキャッチをフラッグシップとして、「Genki!」シリーズが誕生。



©やなせ・F・T・N

2004



鼻セレブティッシュ発売

2003



王子ネピア(株)に社名変更

ホクシーティッシュ150組フィルムレスボックスを発売

取り出し口のフィルムをなくしたフィルムレスティッシュを発売。フィルムを剥がしてゴミを分別する手間を省くとともに、環境に配慮した。

1997



ネピアコンパクトトイレットロール発売

1996



ネピアティッシュコンパクトを発売

1993



大人用紙おむつ「テンダー」発売

2009



ちよびエコ規格に変更

中身はそのまま、カートンのサイズを小型化。運送トラックのエネルギー削減をはじめ、環境負荷低減に貢献するとともに、持ち帰りの負担も減少。

2011



業界に先駆け、FSC®認証紙を採用

環境配慮への意識の高まりに合わせ、業界に先駆けてFSC®認証紙を主要商品に採用。FSC® C018118

2017



WWF®ジャパンとライセンス契約締結

世界最大規模の自然保護団体であるWWF®ジャパン(世界自然保護基金)とFSC®認証紙の普及促進を開始。WWF® and ©1986 Panda Symbol are owned by WWF. All rights reserved.

2020



バイオマスインキの採用

さらなる環境配慮への取り組みとして、一部商品のパッケージにバイオマスインキの使用を開始。

2021



ネピアecoブランド発売

2022



取り出し口を「紙化」、新タタミジョーズの開発

取り出し口のフィルムを紙に変更することで、使用後はそのまま「紙」としてリサイクルが可能に。左右側面を押すと簡単にたためる「新タタミジョーズ」を採用し、手間なく簡単にたためる設計にした。